

### 有田町の特徴や誇れるもの

古くから焼き物の町として初めて磁器が焼かれました。以来、佐賀藩のもとで、磁器生産が本格化し有名な有田町は、1616年に朝鮮人陶工李参平らによって泉山に陶石が発見され、日本で、谷あいに「有田千軒」と呼ばれる町並みが形成され、繁栄を極めました。この町並みは、現在も歴史的価値の高い建物が数多く残っており、1991年に国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。2016年には磁器誕生400年を迎えます。

一方で、有田町は「棚田」という特徴的な景観を持つ稲作地があり、県下有数の畜産地でもあります。有田焼の「器」と農業の「食」、両方の魅力を堪能できる有田町。伝統と歴史、豊かな観光資源を生かした町づくりに取り組んでいます。

### 有田小学校



**【世界一大きな絵】** 国内外の子ども達が、縦横5mの白地の布に「いのち」をテーマに取り組むものです。全校児童1人1人でオリジナルデザインのおちゃわんの絵を描いたり、有田町の名所の四季を表す絵を描いたりしました。今年8月に大阪・関西万博博覧会で展示されました。

**【陶器市遠足】** 120年以上続く有田陶器市は、毎年4月29日～5月5日実施されます。自分達の校区にある伝統行事を肌で感じながらも、決まった金額の中でお店の人と交渉をしていかに自分が好きな物を買うかを体験しました。



### 有田中部小学校



**【陶芸教室】** 地元の窯元、陶交会、有田工業高校と、たくさんの皆様にご指導いただきながら、一人ひとり個性あふれる作品作りに取り組んでいます。校内焼きもの展では、それぞれの作品のよさやおもしろさを感じ取ることができるように、全学年の作品をホールに展示しています。

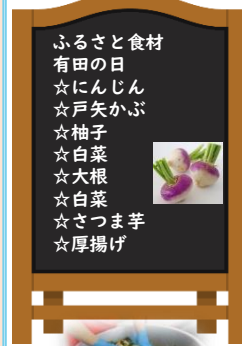


**【3年生：陶器市のふしぎを見つけよう】** 有田陶器市の見学を行い、「お客さんが多いのはなぜだろう」「陶器市はいつ始まったのだろう」等、たくさんの不思議を見つけることができました。その後、有田商工会の方から有田陶器市の素晴らしさを教えていただいたことで、郷土への誇りをより強くもつことができました。

### 西有田中学校

#### 【ありた ふるさと食の日】

戸矢かぶは、ソフトボールほどの大きさで、ハートの形をしていて、表面が半分赤い【赤むらさき】色をしているのが特徴です。葉の部分は、たんぼぼの葉のようにギザギザとした形をしています。赤い表面は、弓の名手の源為朝が黒髪山の太蛇の血が戸矢地区まで流れてきたため、カブの表面が赤くなったと伝えられています。



**【職場体験活動】** 2年生は、郷土の職場での体験を通して、仕事の大変さややりがいを学びました。



### 有田中学校

**【陶芸教室】** 1年生は、地元の陶芸家より有田焼の歴史を学び、皿の彫りと絵付けを体験しました。



**【絵付け教室】** 3年生は、伝統工芸士の方から、一緒に下絵付けをしながら、伝統工芸品などについて学びました。

教育委員会所在地：有田町本町丙1002番地2  
 連絡先：0955-43-2324  
 学校数：小学校 4校、中学校 2校

### 曲川小学校



**【校内焼き物展 「柿右衛門展」】**  
 本校の校内焼き物展は、15代柿右衛門先生のお父様である14代柿右衛門先生が本校出身ということで、お父様の時代から大切にされてきた学校行事です。焼き物への関心や、地域の方々との関わりなど、ふるさと有田を誇りに思う児童の育成を目指す教育活動です。



### 大山小学校



**【有田町歴史探訪】**  
 6年生は、12月に有田町の歴史探訪を行いました。有田町観光ガイドの方に説明していただきながら、泉山磁石場や有田の昔ながらの町並みを見学しました。自分たちが住む有田町の歴史を知ること、郷土に対する誇りをもち、自分たちで有田町のことを積極的に発信していきたいという思いを高めていました。

